

## 7月定例教育委員会会議 議事録

令和元年7月29日  
午後2時開会  
内本町コミュニティセンター多目的ホール

### 出席委員

原田勝 教育長  
大谷佐知子 委員  
安達友基子 委員

谷口学 教育長職務代理者  
和泉慎次 委員  
福田知弘 委員

### 出席説明員

橋本敏子 学校教育部長  
大江慶博 教育監  
植田聡 学校教育部次長指導室長兼務  
生駒靖子 教育政策室長  
草場敦子 教育センター所長  
中村美和 教育総務室参事  
中井建志 指導室参事・指導主事  
坂原元一 文化財保護課長  
西貴美子 指導室主幹・指導主事  
植田陽介 指導室主幹・指導主事  
浦憲太 指導室主幹・指導主事  
前田壮賢 指導室主幹・指導主事  
田淵真司 指導室主幹・指導主事  
岡田敦教 職員課主幹・指導主事  
矢幡渚 教育センター主幹・指導主事

木戸誠 地域教育部長  
道場久明 学校教育部次長教育総務室長兼務  
落俊哉 地域教育部次長  
橋本健一 保健給食室長  
前田隆男 青少年室長  
市川泉 教育政策室参事  
中西多恵子 指導室参事・指導主事  
奥田智子 教育政策室主幹・指導主事  
松本直史 指導室主幹・指導主事  
櫻井仁之 指導室主幹・指導主事  
橋本道信 指導室主幹・指導主事  
川添龍次 指導室主幹・指導主事  
前田洋平 指導室主幹・指導主事  
坂本健一 教育センター主幹・指導主事  
上田一朗 教育センター主幹・指導主事

### 記録者

松下麻希子 教育政策室主査

## 7月定例教育委員会会議 議事録

午後2時 開会

- 原田勝教育長 　　ただ今から7月定例教育委員会会議を再開いたします。  
署名委員に福田委員を指名いたします。  
本日の記録者に松下教育政策室主査を指名いたします。  
本日の傍聴席の数について事務局から説明してください。
- 市川泉教育政策室参事 　　本日の傍聴席の設置可能数は80席でございます。現在の傍聴希望者数は24名です。
- 原田勝教育長 　　それでは、本日の傍聴は80名まで許可したいと思いますが、いかがでしょうか。
- 全委員 　　異議なし。
- 原田勝教育長 　　異議なしと認め、本日の傍聴は80名まで許可します。
- ― 傍聴者入場 ―**
- 原田勝教育長 　　それでは、議事日程に従いまして、日程第1 報告第18号「令和元年7月吹田市議会定例会提案の令和元年度補正予算案について」を議題とします。
- 事務局の説明を求めます。
- 中村美和教育総務室参事 　　日程第1 報告第18号「令和元年7月吹田市議会定例会提案の令和元年度補正予算案について」御説明申し上げます。
- 本件は、教育事務に関し市長の作成する議会の議案に対して、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づき、意見を求められたものでございますが、令和元年7月定例会に追加議案として提出する必要があるため、令和元年7月22日付けで臨時に代理したものでございます。
- 5ページをお願いいたします。こちらは歳出補正予算案をお示ししております。
- まず、第10款、教育費、第1項、教育総務費で27,131,000円を追加いたしております。
- 内容の1点目は、(目)教育センター費として、児童・生徒等へのいじめに関する相談対応等に特化した専任の相談員の新規配置に係る経費1,617,000円の追加。
- 2点目は、(目)教育指導費として、学校現場における指導体制への助言や教員の支援等を行う、いじめ対応支援員の新規配置及びいじめ等を早期に把握するための(仮称)こどもSOSカードの導入並びに学校現場における指導体制の強化及び児童・生徒や家庭、学校への支援を行う、スクールソーシャルワーカーの配置時間の拡充に係る経費25,514,000円を追加するものでございます。
- 以上、簡単な説明ではございますが、御報告申し上げます。

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。  
異議なし。

異議なしと認め、報告第18号「令和元年7月吹田市議会定例会提案の令和元年度補正予算案について」を承認します。

原田勝教育長

次に、日程第2 教育長報告を議題とします。

内容は、「損害賠償額の決定に関する専決処分について」です。

事務局の説明を求めます。

坂原元一文化財保護課長

日程第2 教育長報告といたしまして、損害賠償額の決定に関する専決処分につきまして、御報告申し上げます。

議案書の9ページ、資料、損害賠償額の決定に関する専決処分についてをお願いします。

このような御報告を申し上げることにつきまして、誠に申し訳なく存じます。

専決処分年月日は、本年6月20日、損害賠償額は50,000円でございます。

事故の概要でございますが、昨年9月4日午後2時ごろ、台風21号による強風のため、旧中西家（吹田吉志部文人墨客迎賓館）の屋根瓦が飛散し、同施設東側の吹田市岸部中4丁目13番15号の共同住宅の駐車場に駐車していた、相手方個人所有の普通乗用車に当たり、同車が損傷したものでございます。

同施設は、昨年6月の大阪府北部地震により、屋根瓦に破損等の被害を受け、応急処置は行っていましたが、本件事故の当日までに修繕が間に合わず、屋根瓦を飛散させてしまったことにつきまして、本市に施設管理上の瑕疵があるものでございます。

なお、この事故によります損害賠償金につきましては、施設賠償責任保険から免責額1,000円を除いた額が給付されるものでございます。

原田勝教育長

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

御意見がないようですので、以上で教育長報告を終わります。

原田勝教育長

ここで、教育委員会会議を暫時休憩します。

#### — 休憩 —

原田勝教育長

教育委員会会議を再開いたします。

原田勝教育長

次に、日程第3 議案第23号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（生活）の採択について」の審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第3 議案第23号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（生活）の採択について」の御説明を申し上げます。

選定委員会からの答申に基づき、実際の教科書を用いながら、内容について担当指導主事より御説明申し上げます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

過半数に達していない場合は、もうしばらく議論を尽くしていただいて、

議決いただくかたちになります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に、教育委員会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の時は教育長の決するところによるという規定になっております。

過半数ということでもありますので、半数を超えるということの取扱いになります。6人の出席委員でしたら、4人以上の委員の賛成、あるいは、同数の場合でしたら、教育長の決定という方法で議決ということになります。

なお、説明の際、資料等を参考にすることが多くございますので、着席したまま御説明させていただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、令和2年度使用教科用図書小学校用（生活）について、選定具申の発行者順に御説明いたします。

はじめに、「東京書籍」です。

上巻の4ページを御覧ください。

家庭と学校が連携し、ともに児童の学びを支えていく「社会に開かれた教育」を目指しており、下段に保護者向けに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が発揮される場面などの解説文が掲載されています。

上巻の35ページを御覧ください。

アサガオの観察についてでございますが、観察カードを初めて書くことになるアサガオの観察カードの例示におきまして、観察上の大事な視点や書き方のポイント等が大きく詳しく書かれており、他の単元でも、ワークシートの例がページ右下に提示され、児童が参考にしやすいよう工夫されています。

次に、「大日本図書」です。

上巻の90ページ、91ページを御覧ください。

家族に関する単元におきまして、多様な家族の写真を使用し、男女の役割分担に偏りがないう配慮されています。

下巻の128ページ、129ページを御覧ください。

巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、障がい者理解に繋がる写真もあります。

また、下巻の134ページ、135ページを御覧ください。

こちらには世界の言語や文化も「せかいのなかま」として掲載され、多様性理解に配慮されています。

次に、「学校図書」です。

上巻の2ページからを御覧ください。左上を御覧ください。

各単元が、導入は「どきどき」、活動は「いきいき」、思考・表現は「ふむふむ」、振り返りは「にこにこ」、という4段階構成で、学習過程が明確にされています。

また、下巻の88ページからを御覧ください。

2年生の自分の成長を振り返る単元「わたし たんけん」では、自分で振り返る・友達に聞く・大人に聞くの段階を踏むことで、自分の捉え方を広げていけるように工夫されています。

次に、「教育出版」です。

上巻の64ページからを御覧ください。

「生きものをさがそう」の単元で、生き物の育て方を、70ページには飼い方も含めて載っているのので、詳しく載せていることで、いろいろな経験が乏しい児童も、虫等が飼いやすいようになっています。

上巻の69ページを御覧ください。

右端に「まんぞくハシゴ」がありますが、これは各単元に設けられており、はしごに登っているキャラクターと、自分の思いが上か下かを比べることにより、自己評価をして、意欲や自信に繋がる工夫がされています。

次に、「光村図書出版」です。

上巻の86ページ、また、下巻の86ページを御覧ください。

家族に関する単元である、上巻86ページからの「みんなのここにこ大きくせん」や下巻86ページの「広がれわたし」において、家族構成の違いに影響されることなく、学習が進められるように配慮されています。

上巻の107ページからを御覧ください。

こちらは「ふゆとともだち」の単元の中に、「きせつの おくりもの」のページがあり、季節の変化を上巻に4ページ分の見開きで、季節の変化が、大きな写真で分かりやすく示されています。

次に、「啓林館」です。

上巻の2ページを御覧ください。

単元の導入におきまして、わくわくの扉と題し、児童の経験や体験を大切に、日常生活から生活科がはじまるように工夫されています。

3ページを御覧ください。

誌面右下のめくり言葉が設定されています。次の活動への期待感が高まり、もっとこうしたいという思いや願いの連続性を大切に、主体性を育てる工夫がされています。

上巻の49ページ及び82ページを御覧ください。

「なつとなかよし」・「あきとなかよし」等の季節の単元におきまして、季節の様子やその季節の特色を生かした遊びを考える設定になっており、その遊びも、比べたり試したりすることによって、自分たちで遊びが工夫できるよう配慮されています。

最後に、「日本文教出版」です。

上巻の20ページ、21ページ、同じく下巻の14ページ、15ページを御覧ください。

学校・地域での生活の様子を示すイラストや写真において、多様性に配慮された場面を載せており、その違いに気付くことで、互いの理解へと結びつくよう配慮されています。

下巻の135ページを御覧ください。

町の中における点字や標識、手話なども巻末にまとめられており、地域の障がいがある方との関わりについても考えられるように配慮されています。

原田勝教育長  
福田知弘委員

説明は以上でございます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

生活科は、幼稚園からの繋がりが重要な教科になると言えると思いますけれども、そのスタートのカリキュラムについては、どのように扱われていますか。

松本直史指導室主幹・指導主事

各発行者ともスタートカリキュラム単元が設けられております。入学から2週間ほどの学校生活の様子を写真などで分かりやすく扱っています。

「東京書籍」では、幼児期の学びがどのように学校生活に生かされていくかについて、保護者向けに解説文が書かれています。児童・保護者・教員が連携して進められるようになっていきます。

「啓林館」では、幼児期の写真からスタートブックが始まり、生活科を中心に幼児期に親しんだ活動を、合科的に学習する例が掲載され、幼児期と小学校の繋がりを感ずることができ、安心感に繋がり、教師にとっても幼児教育を活かす指導の参考になります。

「教育出版」では、児童が幼児期の活動を思い出しながら、小学校生活を送ることができるよう、絵本を使用することで、円滑に小学校生活へと繋がるように工夫されています。

谷口学教育長職務代理者

次に3年生になっていくのですが、理科や社会の学習への繋がりにどのような配慮がされているか、説明してください。

松本直史指導室主幹・指導主事

各発行者、理科や社会、または、総合的な学習へ繋がっていくような配慮がされています。

「日本文教出版」では、おもちゃの作り方が詳しく掲載されており、もっと工夫するにはどうしたらいいのかといった視点が書かれており、試行錯誤して活動する理科へと繋がる学習展開となっております。

また、「大日本図書」では、春の町探検で、学校までの道カードを書かせて、それらを張り合わせて使用することで、校区地図へと発展させ、書き方も下巻末の「がくしゅうどうぐばこ」に掲載するなど、社会科への繋がりを意識したものになっています。

「学校図書」では、おもちゃづくりの単元で、動くおもちゃに限定して作らせており、動力の種類から、どのようなものが作り出せるか、動力をどのようにパワーアップさせるかについて考えさせ、理科へと繋がる学習展開にしています。

和泉慎次委員

生活科といえば、児童の生活に密接した教科だと思いますが、その点から、児童の意欲を喚起するような工夫はなされていますか。

松本直史指導室主幹・指導主事

「啓林館」では、全単元の導入で「わくわくボックス」というページを設けておりまして、児童の日常生活に関係する写真を多用することで、なぜだろう、楽しそう、と児童の心を揺さぶり、児童のやってみたい、～したい、という思いや願いが高まるように工夫されています。

「光村図書出版」では、単元の振り返りを記入するシールがあり、児童が楽しんで振り返り活動ができるように工夫されています。

「学校図書」では、上下巻通じて、同じ4人の登場キャラクターのセリ

フで活動が展開されており、児童が共感しながら学習を進め、成長していけるようになっています。

大谷佐知子委員

活動の際に児童が参考にできるような資料が充実している発行者を挙げてください。

松本直史指導室主幹・指導主事

こちらも、各発行者、生き物図鑑や野菜図鑑を設けるなど、また、巻末に学び方などをまとめて掲載しています。

「教育出版」では、17種類のどんぐりが載せられているなど、図鑑に掲載されている写真の種類が豊富で児童が楽しめるものとなっています。また、「学びのポケット」として、伝え方、道具の使い方などを掲載しています。

「東京書籍」では、実物大の植物の絵を掲載した「ぼけっと図鑑」、生活習慣や道具の使い方、学び方が身につく「べんりてちょう」が下巻末に設けられています。

「啓林館」では、「わくわくボックス」に、生き物や野菜などの写真を載せ、さらに巻末の「がくしゅうずかん」で児童の学びを深める、記録の仕方やまとめ方などを掲載しています。

安達友基子委員

児童の安全面に関する内容はどのようになっていますか。

松本直史指導室主幹・指導主事

「光村図書出版」では、安全面や衛生面については、注意事項がエクスクラメーションマークによって随所に示されています。

また、「大日本図書」では、安全面に関して、上巻末の「がくしゅうどうぐばこ」で不審者への注意が2ページわたって掲載されており、登下校や防災の注意も掲載されています。

「日本文教出版」では、活動ごとに、安全面を含む注意を確認できる欄が見開きの右上に配置されており、児童が安全やマナーについて気付くことができるように配慮されています。

「東京書籍」では、見開きの右上に、「やくそく」の欄が設けられています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、生活についての審議を終了いたします。

それでは、吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（生活）の採択についての委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「啓林館」が良いと思いました。

先ほどの御説明のなかでも、「わくわくの扉」とか「わくわくボックス」が設定されているとの紹介がありましたけれども、全体を通して児童が自ら主体的に興味を持って勉強できるような工夫が随所にされていたのが良いと思いました。

福田知弘委員

私も「啓林館」が良いと思いました。

一つは、先ほど質問したようなスタートブック、それが幼稚園からの繋ぎを意識されていることとか、あと、各単元の導入の写真が非常にしっかりとっていて、学習に対する意欲を喚起するような内容になっていると、そのあたりでございます。

大谷佐知子委員

私も「啓林館」が良いと思いました。

先ほど質問もしました、活動の際に児童の参考になるような、「わくわくボックス」であったり、また、巻末の「がくしゅうずかん」で児童の学びを深めるようなところが、とても良いなと思いました。

和泉慎次委員

私は「啓林館」を推薦させていただきたいと思います。

単元の表示、この項目で「わくわく」、「いきいき」というような表示をされて、学習過程を分かりやすく工夫されている点です。

また、写真・イラスト等を使って伝え合う手立ても一緒に確保されて、児童に分かりやすい教科書になっているのではないかと思います。

谷口学教育長職務代理者

私も「啓林館」を推薦したいと思います。

上巻が「わくわく」、下巻が「いきいき」という内容通りの、写真も非常に良くできた「わくわくボックス」の写真であるし、あと巻末の辞書も非常に良くできていて、内容としても素晴らしいし、写真がとにかくきれいなのが良いんじゃないかなと思いました。最後の「がくしゅうずかん」ですね、それが非常に良かったと思います。

原田勝教育長

私も「啓林館」が良いなと思いました。

分かりやすく、使いやすくて良いと思いました。また、字が読みやすいこと、児童に考えさせようという姿勢がワクワクすることと、また写真がメインでイメージが湧きやすいということから選びました。

原田勝教育長

それでは、議案第23号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（生活）の採択について」につきましては、「啓林館」を採択することといたします。

原田勝教育長

次に、日程第4 議案第24号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（音楽）の採択について」の審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第4 議案第24号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（音楽）の採択について」の御説明を申し上げます。

音楽については2つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

上田一朗教育センター主幹・指導主事

それでは、令和2年度使用教科用図書小学校用（音楽）について、選定具申の発行者順に御説明いたします。

両者とも、4年生の教科書を中心に使用して、御説明いたします。

まず、「教育出版」について御説明いたします。

「音楽のおくりもの4」の16ページを御覧ください。

題材「拍子と旋律」と、このページでの学習の目標「拍の流れや旋律の感じを生かしてえんそうしよう」が大きくページの上部に記されており、学習の見通しが立てやすくなっております。

同じく37ページを御覧ください。緑のカエルの部分を御覧ください。

「パートの役わりについてはふぱぽ（12ページ）を思い出そう」のように、既習事項のページや関連資料等のリンク先をカエルマークで示し、振



り返りや関連学習ができるようになっております。

同じく74ページを御覧ください。

ここでは、「音楽のもと」まとめ」が示されており、その学年で学習した内容が分かりやすく示されております。

「音楽のおくりもの3」の55ページを御覧ください。

3年生以上では、このページの下段のような書き込める欄があり、「上  
に書いたことをもとに、この曲のおもしろいところなどを友だちにつたえ  
よう。」など、対話的な学びを深めるための話合いの視点が示され、分か  
りやすくなっております。

続きまして、「教育芸術社」の御説明をさせていただきます。

「小学生の音楽4」の18ページを御覧ください。

題材「いろいろなリズムを感じ取ろう」と、このページでの学習の目標  
「6拍子を感じながら歌いましょう。」がページ上部に記されており、学  
習の見通しが立てやすくなっております。

また、学習の目標に迫るための目安としての具体的な活動文「ばんそう  
のリズムにのって歌いましょう。」「強さの変化を感じ取りながら、旋  
律のまとまりを生かして歌いましょう。」が示されていることや、イラス  
トを効果的に使用して、何を学ぶのか等を児童に分かりやすく説明して  
おります。

同じく82ページを御覧ください。

全学年の巻末に「振り返りのページ」や資料が示されており、その学年  
での学習内容が整理されており、基礎基本等が、適宜振り返り学習でき  
るようになっております。

37ページを御覧ください。

キャラクターの吹き出しで、「音楽に合わせて、主な旋律の図形を指で  
たどったり、体を動かしながらきいてもいいね。」等、学習のヒントが示  
されております。また、ページ下段では、気を付ける音楽的なポイントが  
示された記入欄が設けられております。

同じく60ページを御覧ください。

音楽づくりの題材が多く設定されております。61ページ上段の「2人  
組になって、つくった旋律をつなげましょう。」のように、音楽づくりを  
通してペアワーク等を取り入れ、対話的な学びが深まるよう、配慮されて  
おります。

「小学生の音楽6」の53ページを御覧ください。

ここでは、お互いに認め合いながら学習できるように、また、人権を尊  
重するという観点からも、「卒業に思いをこめて」で卒業に向け、6年間  
のいろいろな人との関わりを振り返る事や選曲で配慮がされております。

説明は以上でございます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

それぞれの教科書につきまして、単元のバランスについては、どのよう  
なになっていきますか。もう一度でも結構ですので、詳しく説明してください。

原田勝教育長  
福田知弘委員

上田一朗教育センター主幹・指導主事

「教育芸術社」では、各領域・分野が関連した、総合的な題材の構成となっております。また、発達段階に応じて系統的に整理されており、学年内の題材の構成の配列、学びの繋がりがあります。

「教育出版」は、基礎基本と活用・発展的学習といった配列となっており、鑑賞のみ・音楽づくりのみといった題材もあります。

谷口学教育長職務代理者

学習を進める上での工夫について、2者ありますけれども、その特徴をいくつか挙げてください。

上田一朗教育センター主幹・指導主事

「教育芸術社」では、題材の目標が、目次とともに、題材のトップページに大きく示され、各教材の学習目標も、それぞれのページの上に書かれていることから、見通しを持って学習に取り組めるようになっています。

また、何を学ぶかが分かりやすいように、イラストを効果的に使っています。

巻末には「ふり返りのページ」や資料があり、学年での学習内容が整理され、基礎基本を適宜振り返りながら学習ができるようになっています。

「教育出版」では、各ページに題材ごとの学習の見通しが示され、学習のめあてが大きくページの上部に記されて、分かりやすくなっております。

また、巻末には「音楽のもと」まとめのページがあり、学年で学習した内容が分かりやすくまとめられています。

大谷佐知子委員

児童の興味・関心を引く点について、どのように工夫されているか説明してください。

上田一朗教育センター主幹・指導主事

「教育芸術社」では、音楽をきっかけに、社会の出来事や伝統文化にも興味・関心が広がるように、身近なテーマや人物を取り上げたり、児童が参加しているお祭りの写真等を掲載しています。

「教育出版」では、様々なジャンルの音楽から、音楽にまつわるメッセージが写真とともに掲載されています。

安達友基子委員

日本の伝統音楽や和楽器については、どのように取り扱われていますか。

上田一朗教育センター主幹・指導主事

各発行者とも、低学年でわらべ歌を身体活動を通して楽しみ、中学年でお祭りのお囃子や民謡を取り扱い、高学年で雅楽などを取り扱っております。

和楽器につきましては、「教育出版」の6年生で、75ページ上段には管弦の演奏の様子が、下段には三曲合奏の様子が、写真を効果的に使用して掲載されており、イメージを膨らませる特徴がございます。

「教育芸術社」では歌唱に取り組んだのちに、写真を見ながら鑑賞を行うという配列になっており、写真等を効果的に使用して児童のイメージを膨らませ、表現と鑑賞領域を関連付け、多角的に学べるようになっています。

和泉慎次委員

君が代についてどのように取扱いをされているのでしょうか。

上田一朗教育センター主幹・指導主事

学習指導要領により、各学年を通じて児童が歌えるように指導することを目標とし、全学年2ページにわたって、歌詞の大意や細石の写真と共に掲載されておるのが、「教育出版」の特徴でございます。

「教育芸術社」につきましては、全学年最終の2ページに歌詞とその大

意、その学年の発達段階に応じた写真や、歌う時のマナー等とともに掲載されております。

原田勝教育長

共通事項の取扱いについては、両者どのような共通項、あるいは違い、特徴がありますか。

上田一朗教育センター主幹・指導主事

共通事項は、指導のねらい、手立てを明確にし、児童生徒が感性を高め、思考・判断し、表現する一連の過程を重視した学習の充実が求められていることを受け、全体構成を見直す中で、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で、共通に必要な事項のことです。

「教育出版」では各ページ右上に「音楽のもと」として、「教育芸術社」では各ページの右下に明記されており、どちらの発行者においても児童がその教材のめあてを理解しやすいように、配慮されております。

「教育出版」につきましては、教材は基礎基本の定着を図るものから、発展的なものまで幅広く掲載されており、実態に合わせて選択しながら、学習活動を進めることができるように工夫されております。

「教育芸術社」では、学習の目標と目標に迫るための活動文がどのページにも示されていることで、単元ごとの学習のめあてが分かりやすく工夫され、基礎、基本の定着に力点を置きながらも、発展的な内容へ無理なく学習が進められるよう、共通事項の取り扱いに配慮された配列になっております。

谷口学教育長職務代理者

鑑賞教材についてはどのように取り扱われているのでしょうか。

上田一朗教育センター主幹・指導主事

鑑賞教材につきましては、どちらの発行者とも、児童がCMで聞いたことがある等、耳慣れた分かりやすい曲で、曲の構成などについて、学びのある曲が選曲されております。

「教育出版」では鑑賞に関する事を直接記入できる欄が設けられております。また記入にあたり、「音楽を表すいろいろな言葉」というのが示されており、児童が音楽を聴いて感想を言葉にするための手立てがとられております。

「教育芸術社」では鑑賞曲の旋律の変化を、それをグラフのようなもので表した図があり、音の高低や長短を視覚的に捉えられるような配慮がいろいろな曲の中でされております。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、音楽についての審議を終了いたします。

それでは、吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（音楽）の採択についての委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「教育芸術社」が良いと思いました。

楽器の写真なども大きくて見やすかったりしますし、楽譜の表記とかも強弱記号とかがきちんと付いていたりするのがとても良いなと思いました。

福田知弘委員

私も「教育芸術社」が良いと思います。

まず、各学年の教科書の一番初めに、この学年で何をするかというのが、大書きにきちんとされているというのが、分かりやすいと思います。

それから、単元の初めに学習のめあてが、非常に、色も含めて分かりやすく明示されているのが良いと思いました。

大谷佐知子委員

私は「教育芸術社」が良いと思いました。

私も、音楽がちょっと苦手だったりしたんですけども、そういうところで興味・関心を引くっていうところで、社会の出来事や伝統文化にも興味・関心を広げるような工夫がされていたり、身近なテーマや人物を取り上げられたりとか、お祭りの写真を掲載されているというところが、児童が関心を持ちやすく、音楽に興味を持って学習してもらえるのかなと思いました。

和泉慎次委員

「教育芸術社」を推薦させていただきたいと思います。

イラストを効果的に使いながら、何を学ぶかというところで分かりやすく導入をされていると。そしてまた、お互いが認め合い、人権を尊重するような適切な選曲がなされているというところから、推薦をさせていただきたいと思います。

谷口学教育長職務代理者

私も「教育芸術社」を推薦したいと思います。

まず、全体的に絵が楽しそうであるということ。

それから、内容に関しましても、先ほどの福田委員のお話とは逆に、巻末に振り返りのページがあるということが、よく分かるのではないかと思います。

それと、質問にありましたように、国歌の君が代に関して、両者とも1年から6年まできちんと書かれているんですけども、「教育出版」の挿絵・写真がすべて同じ写真、6年間同じであるということで、出来たら、やはり、「教育芸術社」はそれなりに考えて違う写真を入れてらっしゃるのが楽しいのではないかなというふうに思いました。

そういう意味で、「教育芸術社」のほうを推薦したいと思います。

原田勝教育長

私も「教育芸術社」を推薦いたします。

まず、文字が大きく低学年の児童が見やすいというところと、めあてがしっかりと太い字で強調されて分かりやすい、また、系統的に書かれていて授業で扱いやすいのではないかと、このことで、「教育芸術社」を薦めたいと思います。

原田勝教育長

それでは、議案第24号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（音楽）の採択について」につきましては、「教育芸術社」を採択することといたします。

原田勝教育長

次に、日程第5 議案第25号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（図画工作）の採択について」の審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第5 議案第25号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（図画工作）の採択について」の御説明を申し上げます。

図画工作については2つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

それでは、吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（図画工作）の選定具申の発行者順に御説明させていただきます。

2者、「開隆堂出版」と「日本文教出版」ですが、どちらの発行者も、児童が生き生きと感性を働かせ、ものを生み出すこと、また造形活動を通じて人と関わろうとする心が育まれるよう、配慮・工夫されております。

1・2年生等、各上下巻構成で、絵画・立体・工作・造形遊び・鑑賞の分野におきまして、児童の発達段階に応じた題材を配列しています。

初めに、「開隆堂出版」の特徴を、各学年の教科書を例に6点、御説明いたします。

1点目です。1・2年生上の12ページ、13ページを御覧ください。一つの教材に対して、多様な表現方法・造形活動を大きな写真で掲載しております。教室全体の写真を掲載することで、児童が幅広い表現活動ができるよう配慮されています。

2点目です。同じく1・2年生上の34ページ、35ページを御覧ください。

スタンプ遊びなど幼児期の学びから繋がるものを取り上げられています。

5・6年生下の46ページ、47ページは、中学校への橋渡しを意識した事例「中学校生活に向けて」のコーナーが設けられているとともに、水墨画など中学校の学習と関連する内容についても取り上げています。

3点目です。語句、作品例、挿絵、写真等の素材については、人権尊重の観点から、適切に取り上げられています。1・2年生上の45ページを御覧ください。国際社会の発展に寄与する態度を養うことを考え、外国の友達の絵を取り上げております。

4点目です。鑑賞の題材では、各教科書4ページ扱いの内容となっており、取り組みやすい鑑賞題材が掲載されています。3・4年生下の48ページ、49ページを御覧ください。

「みんなのギャラリー」というページでは、日本各地の伝統と文化に触れ、その良さを十分に味わうことができるように構成されています。

5点目です。5・6年生下の2ページを御覧ください。

目次では、1年間の学習の見通しが作品の写真で分かりやすく示されており、使用されている写真は活動中の児童の表情や作業工程がよく分かるものになっております。

6点目です。ページをパラパラとめくっていただきますと、各ページの右下にQRコードが掲載されているのが御覧いただけます。このQRコードを読み取ることで、用具の使い方や作り方などの動画や作品例を見ることができるよう工夫されています。

また、同じくパラパラとめくりますと、各ページ左上になりますが、題材で使用する様々な道具や材料が記載されており、児童の発達段階に応じて、発展的な表現活動を促す内容になっています。

続きまして、「日本文教出版」の特徴を、各学年の教科書を例に6点、

御説明いたします。

1点目です。1・2年生上になります、13ページを御覧ください。

材料や表現方法を様々に組み合わせることによって、表現方法や造形活動の展開に幅を持たせることができるよう配慮されています。作品の写真には吹き出しを加え、工夫されていることや作品のポイントを分かりやすく説明しています。

2点目です。各ページの下部には安全面の配慮事項について、「！きをつけよう」という記述により注意喚起されており、安全に作業できるよう配慮されています。このページで使用しますハサミについては、同じ教科書の64ページになりますが、再度詳しく、正しい使い方や活動における注意を掲載しております。

3点目です。同じく1・2年生上の2ページ、3ページを御覧ください。

この巻だけほかの学年のものよりも2ページ多くなっております。それがこの見開きの、幼児期の活動を振り返るページです。題材も粘土や色水など、幼児期の学びから繋がるものを取り上げています。

4点目です。鑑賞の題材では、4ページ扱いとなっているものも多く、子供たちが造形的な面白さを感じ取り、自分の見方を広げている情景写真が掲載されています。3・4年生上の2ページから4ページを御覧ください。「教科書美術館」として、造形的な見方・考え方を深められるような、身の回りのものから美術作品まで幅広く掲載されています。

5点目です。同じく3・4年生上の10ページでございます。

活動と共通事項を結び付けられるように、キャラクターが設定されています。このキャラクターが、児童のつけた形や色などについて、認めたり、気づきを促す行為を提案したりする言葉を投げかけたりすることで、形や色などについて気付いたことが知識として定着するように配慮されています。

また、5・6年生下の64ページ、65ページでございます。

ここでは、小学校6年間の図画工作の中でどのようなことを学んだかを振り返るとともに、中学生について考えるページが設けられております。美術鑑賞や一枚の板で工作を作るなど、中学校の美術や技術・家庭との関連に配慮したページも設けられています。

6点目です。全学年を通じて、巻頭で、身の回りの物や美術作品を紹介し、能動的な鑑賞活動や言語活動ができるよう工夫されています。また、指導書のデジタルコンテンツでは、用具の使い方や技法動画を見ることができ、大判で掲示できる資料、振り返りワークシート、アートカード、素材カード、言葉カード等も収録されています。

説明は以上でございます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

学習のめあてとそれに対応する児童の活動の様子、あるいは評価の方法について、それぞれの教材でどのような記述がなされていますか。

「開隆堂」では、育てたい3つの資質・能力を「学習のめあて」として

原田勝教育長  
谷口学教育長職務代理者

岡田敦教職員課主幹・指導主事

示しておりまして、それぞれをキャラクター化しております。そのキャラクターが学習のヒントを投げかけることで、学習を深められるようにしています。

また、題材の末尾ですが、その学習を確認できるように「ふりかえり」を設定し、児童が主体的・対話的で深い学びとなるよう導いています。

「日本文教出版」も、同じく3つの資質・能力を「学習のめあて」とし、各題材に設定しております。児童に分かりやすい言葉で示して、こちらは評価の参考にもなっております。

題材の末尾には、活動を通して感じたこと、また、児童に考えてほしいことが例示されておりまして、学習が次の学びや生活の中で生かそうとする気持ち、そういったものを育むように工夫されています。

加えてですが、掲載されている写真には児童のつぶやきを吹き出しで示しており、対話的な学びがよりスムーズに進められるように配慮されています。

安達友基子委員

2者ともに人権には配慮された内容になっているとは思いますが、具体的にどのような配慮がされているかを説明してください。

岡田敦教職員課主幹・指導主事

「開隆堂」ですがカラーユニバーサルデザインが取り入れられております。色覚に特性のある児童にも内容が理解しやすいように、彩色の工夫があります。また、インクルーシブ教育の観点からですが、意味のまとまりごとに改行位置を工夫したり、ヒントや説明文を追加するなど、手順や学習の流れが分かりやすくなるように工夫をしています。

「日本文教出版」も、カラーユニバーサルデザインを取り入れておりますが、コントラストや文字の背景色に配慮しています。

また、パラリンピックのエンブレムなどを取り上げています。また、5・6年生になりますが、手で触ってみる展覧会の事例がありまして、視覚障がい特別支援学校の児童の作品を触って鑑賞する、そういう触覚で鑑賞するといった方法も紹介されています。

大谷佐知子委員

学習指導要領では表現と鑑賞が示されていますが、各発行者の構成はどのようなになっていますか。

岡田敦教職員課主幹・指導主事

どちらの発行者も、題材ごとに様々な材料や表現方法が紹介されて、児童の発達段階に応じて、発展的な表現を促すかたちとなっております。

「開隆堂」ですが、絵画・工作の事例を多く取り上げております。鑑賞については、「みんなのギャラリー」で、先ほども御説明させていただきました、日本各地の伝統や文化等に触れる教材が掲載されています。

「日本文教出版」は、全体的にバランスよく取り上げておるんですが、低・中学年では造形遊びを多く取り上げております。鑑賞については、「教科書美術館」として、身の回りのものから美術作品まで幅広く掲載しております。

福田知弘委員

プログラミング教育ですとか、ICT、それから他の教科との関連について説明してください。

岡田敦教職員課主幹・指導主事

どちらの教科書もですが、プログラミング的思考を育むために、仕組み

の動きを基にして思いついたものをつくる、そういった活動を取り上げています。

I C Tの活用についてですが、「開隆堂」では、デジタルカメラやタブレットを用いて自分の作った作品をコマ撮りで撮影するという活動を掲載しておりまして、表現と鑑賞を関連付けるような活動となっています。

「日本文教出版」ですが、プロジェクターなどを用いて光と影による作品づくりをするという教材が掲載されています。

他教科との関連についてですが、どちらの教科書も様々な教科との繋がりを工夫しておりますが、「開隆堂」はページ下部になりますが、「あわせて学ぼう」というマークで、国語・理科といった関連する教科を示して、教科横断的な学習ができるようになっています。

「日本文教出版」ですが、道徳と関連しているページに関して、右下のページ番号の上にフクロウが描かれています。

和泉慎次委員

発行者2者とも、材料や用具の取り扱いについて安全面に配慮したものとなっていると思うんですけども、学年に応じたような対応となっていますか。

岡田敦教職員課主幹・指導主事

どちらの教科書も用具の正しい使い方、活動における安全面、素材が体に与える影響について配慮されており、「！」マークと記述とを併せて、注意喚起をしています。

「開隆堂」は、巻末の「造形の引き出し」というページで、学年に応じた材料や用具の説明が示されています。造形的なものの見方・鑑賞の方法といった知識・技能も系統立てて紹介しています。

「日本文教出版」ですが、6学年を通して、同じ材料や用具に繰り返し関わるができるように、題材が系統的に設定されており、発達の段階とともに学びを深められるようになっています。巻末の「使ってみよう材料と用具」のページでは、描画材・接着・木の加工など、学年に応じた材料や用具の使い方についても示されています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、図画工作についての審議を終了いたします。

それでは、吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（図画工作）の採択についての委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「日本文教出版」が良いと思いました。

写真の横に吹き出しがついているのがとても分かりやすいのと、対話的な学びに繋がるというのが良いと思いました。

それから、鑑賞の題材もより充実しているように感じましたので、こちらが良いと思いました。

福田知弘委員

私も「日本文教出版」が良いと思いました。

理由としましては、様々な分野の芸術作品が掲載されておりまして、それも新旧が含まれていますし、それから国内・国外、幅広く捉えていると。その鑑賞だけではなく、どうやって製作しているかという製作の様子も詳



大谷佐知子委員	<p>しく書かれているということで、推薦したいと考えております。</p> <p>私は「日本文教出版」が良いと思いました。</p> <p>全体的に作品のポイントを分かりやすく説明している点であったり、安全面への配慮で「！」マークが付いているのが分かりやすかったり、小学校の6年間の図画工作を振り返るところから、中学校生活についてを考えられるページが付いている点が良いなと思ったり、まず、この一つ一つの表紙が本当にきれいな作品が、また裏に説明があるなど、良いと思いました。</p>
和泉慎次委員	<p>私も「日本文教出版」を推薦させていただきたいと思います。</p> <p>表現方法であったり、あるいは造形活動に幅を持たせるような工夫がなされ、児童が取り組みやすくなっている。また、学びの振り返りによって創造の幅というものを大きく広げるような工夫がなされているというような点から、推薦をさせていただきたいと思います。</p>
谷口学教育長職務代理者	<p>私も「日本文教出版」が良いんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>いろいろな意味で違いがある中で、特にデジタルコンテンツを使って、いろいろと道具であったり、技法を動画で見せることができるということは、やはり素晴らしいことではないかなというふうに思いました。</p> <p>それともう一つ、「開隆堂」の目次の書き方が、最初のページのところで年間をずっと書いてあるんですけども、なんとなくこういう書き方が子供たちにとって本当に必要なのかなという、すべてこれ1年から書いてあるわけですけども、必要じゃないんじゃないかなという気が私自身はするので、やはり、「日本文教出版」のほうが良いというふうに思っています。</p>
原田勝教育長	<p>私も「日本文教出版」が良いと思いました。</p> <p>児童の興味を引く構成になっていまして、また、写真が多く、実際に作っている様子やポイントが非常に分かりやすかったということでございます。マークが多くて、児童の関心も引きやすいかというふうに感じました。</p>
原田勝教育長	<p>それでは、議案第25号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（図画工作）の採択について」につきましては、「日本文教出版」を採択することといたします。</p>
原田勝教育長	<p>次に、日程第6 議案第26号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（家庭）の採択について」の審議及び採択を行います。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>日程第6 議案第26号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（家庭）の採択について」の御説明を申し上げます。</p> <p>家庭については2つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。</p>
川添龍次指導室主幹・指導主事	<p>それでは、令和2年度使用教科用図書（家庭）の選定具申の発行者順に御説明いたします。</p>

はじめに、「東京書籍」につきまして、御説明申し上げます。

まず、130ページを御覧ください。

A4の大型紙面が情報量を充実させ、視覚的効果を高めたり、児童が興味・関心を持って取り組めたりするように工夫されています。紙面が大きく、全体的に写真や図が多くなっています。

130ページから139ページの「いつも確かめよう」では、包丁や裁ちばさみなどの使い方、運針などが実物大に示されており、教科書に直接、手を置いて指導することができます。

17ページを御覧ください。

左利きの場合の包丁の使い方は巻末ページ以外にも載っている配慮がなされています。

巻頭ページを御覧ください。

折り込みを開いたスペースも使って、5年生・6年生の2年間を見通して学習を進められるようになっています。

2ページの右上に記されている「いつも確かめよう」のページでは、5年生で学んだ技能を6年生でも生かして、定着できるようになっています。

また、73ページを御覧ください。

5年生と6年生の間に、5年生で学習したことの振り返りがあり、区切りがあって切り替えやすくなっています。

次に、87ページを御覧ください。

上段右側に「関連」マークがあります。これは、他教科や他学年の学習内容や、中学校技術・家庭の学習内容と関連させ、学びを深められるようになっています。86ページ、87ページには「リンク」マークもあります。他のページとの相互関連を図ったりして学習できるよう配慮されています。

31ページを御覧ください。

児童の生活の中から課題を見つけられるように「生活を変えるチャンス!」として、家庭生活へ繋げられるように工夫されています。

40ページを御覧ください。

話し合い活動が設定されており、44ページには実習、47ページには調べ学習などが設定され、表現力の育成や言語活動の充実に関わるよう工夫されています。

また、75ページを御覧ください。

教科書だけでワークシートの活用しながら、児童が書き込むことができるようになっています。

続きまして、「開隆堂出版」につきまして、御説明申し上げます。

まず、75ページを御覧ください。

世界の地域や日本の伝統文化、郷土、地域などについて具体的な活動例が挙げられています。

また、130ページを御覧ください。

本文以外の、巻末などにも多文化の学習に関わる写真を多く掲載してお

り、身近な生活の中にある様々な文化を知ることができるようになっていきます。

次に、12ページを御覧ください。

製作・実習の題材は、平易なものから段階的に発展させて学習できるよう配慮されています。ここでは、茹でるという技能を取り上げ、コンロの安全な使い方、お湯の沸かし方、14ページからは、青菜、じゃがいも、卵が取り上げられています。

86ページ、87ページを御覧ください。

実習手順などの写真や図は、児童の視線の流れを考慮して見開きページを使い、横で見ることができるようになっていきます。また、62ページ、63ページのように、このような工夫は実習以外のページでも見ることができます。

25ページを御覧ください。

文章の量が少ないことで読みやすく、一つひとつの手順がコンパクトに示されています。必要なことが絞ってあることで、写真やイラストでより分かりやすく説明されています。

折り込みを開いた3ページを御覧ください。

下の方にQRコードについて説明があります。QRマークが掲載されている箇所については、その内容を具体的に動画で見ることができるようになっていきます。

40ページ、41ページを御覧ください。

多くのページでQRコードが活用できるようになっており、写真だけでは難しい細かな動きを動画で学習したり、効果的なコンテンツの紹介をしたりできるようになっています。

40ページ「①下糸を準備する」の横にQRマークが記されておりますので、41ページ右上のQRコードを読み込めば、すぐに動画で確認することができます。視覚的な支援としての効果はもちろん、児童がより主体的に学習に取り組めるような工夫の1つであり、児童が家で学ぶ、授業ですぐに映像が見られる、興味・関心が高まるなど、効果的に活用できるようになっています。

説明は以上でございます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

家庭科においては、基礎的あるいは基本的な知識の習得、あるいは技能の確実な定着というのが重要になってくると思うんですけれども、2者ではどのようなかたちでそのような工夫がされているのか紹介してください。

両者とも、各題材のはじまりと終わりに学習のめあて・振り返りを設け、学習の目標と評価を重視しております。

「東京書籍」では、基礎的・基本的な技能を「いつも確かめよう」という囲みで取り上げております。これは、最初に実習するとき、次の実習のとき、家庭生活で実践するときなどに、繰り返し確かめながら身に付ける

原田勝教育長  
谷口学教育長職務代理者

川添龍次指導室主幹・指導主事

ことができるようになっております。

また、実習技能については大きな写真で示されており、児童自身がチェックして、確認できるようになっております。

「開隆堂」でも、初めて学ぶときに押さえておきたいことを「学習のめあて」として表示し、学習過程では「できたかな」のチェックで確認できるようになっております。

製作・調理の手順図においては、各発行者とも見開きページで横に流れる記述で、一つひとつの手順が児童の視線の流れと思考の流れに沿うように考慮されております。

大谷佐知子委員

主体的・対話的で深い学びが促されるように、両者どのように工夫されているのか説明してください。

川添龍次指導室主幹・指導主事

両者とも、話し合い活動、実習、調べ学習などが設定され、表現力の育成や言語活動の充実につながるよう工夫されています。

「東京書籍」では、各題材とも「めあて」をはじめに設け、「①見つけよう」、「②計画しよう・実践しよう」、「③生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップで学習の内容が分かりやすく展開できるようになっており、問題解決的な学習となるよう構成されています。

「開隆堂」では、学習の進め方を、「①見つける・気づく」、「②わかる・できる」、「③生かす・深める」の3つのステップを基本としています。また、生活の様々な場面を想起させたり着目させたりする写真やイラストを、扉ページにフォトランゲージとして掲載しており、生活を見つめ、問題に気付く導入の学習に活用することができ、主体的な学習を促しています。

福田知弘委員

家庭科では、日常の家庭生活との関わりが大切だと思いますけれども、学習を通じて身に付けた知識や技能を生活に実際に活用できるように、各者ではどのように配慮されているか、説明してください。

川添龍次指導室主幹・指導主事

家庭科は、家庭生活と密接な関わりのある教科であり、学習したことを生活に生かし、その生活体験を学習に生かすことが必要となります。両者ともに、知識や技能を活用し、家庭生活に返していく具体的な活動が豊富に取り上げられ、日常生活と関連付けながら取り組める内容になっており、生活の課題に気付かせるよう配慮されております。

「東京書籍」では、「生活を変えるチャンス！」で生活に結びつける実践の進め方を具体的に示しています。また、各学年末にまとめのページが設定されており、できることが増えていく達成感、また充実感、次への意欲が得られるようになっていきます。知識・技能が身に付いたかを自分で評価できる表も掲載されており、学習はもちろん生活も振り返ることができます。

「開隆堂」では、学んだことが家庭での実践につながるように、各題材の終わりに「生活に生かそう」、学期のまとめごとには「チャレンジコーナー」を設け、家庭生活での実践を促すように工夫されています。

和泉慎次委員

家庭科は5年生になって初めて学ぶ教科ですけれども、4年生までの学

習との関連性や2年間の見通しというようなものは、各者はどのようになっているのでしょうか。

川添龍次指導室主幹・指導主事

4年生までの学習との関連性や2年間の学習の見通しについては、両者ともに表紙の裏から最初の見開きに示されています。

「東京書籍」では、教科書のガイダンスにあたる最初のところで、関連として、これまでの各学年の学習と関連のある項目が、何年生と明確に記載されています。また、各教科で扱った内容については「関連」マークで記載されています。「リンク」のマークで本教科書に記載されているところを明確に示し、繰り返しの学習にも関連付けています。

「開隆堂」では、植物の絵を使って様々な教科や家庭・地域との関連性を示しています。また、他の教科の内容と関連する項目について、「関連」として提示があります。

安達友基子委員

挿絵や写真とか図などのような、視覚的な工夫がどのようにされているか説明してください。

川添龍次指導室主幹・指導主事

両者とも分かりやすい図や挿絵があり、調理実習や制作実習の作品の仕上がりも美しくなっています。

「東京書籍」は切った野菜の大きさの目安が原寸大であり、誌面サイズが大きくなったことを活かして、全体的にはっきり、分かりやすく提示し、子供たちの日常にあったイラストや図が多くなっています。

大谷佐知子委員

両者、新しい観点で、創意工夫されているところがあれば、紹介してください。

川添龍次指導室主幹・指導主事

新学習指導要領で、A（4）として、家族・家庭生活についての「課題と実践」が新設されました。これは、家庭や地域などで行う実践的な活動で、2学年間で1つ又は2つの課題を設定して履修することとされています。

「東京書籍」では、学びを生活に活かす「生活を変えるチャンス！」が5か所に設置されており、学校や地域の実態に応じて取り組むことができるようになっています。

児童が家庭で実践する際の参考になるよう、実践の進め方を丁寧に解説しています。実践の例には、進め方に沿った具体的な方法が例示されており、課題発見の際のヒントとなる課題例もたくさん紹介されています。言語活動を充実させるためにも、まとめ方の例が掲載されています。

「開隆堂」では、「レッツトライ 生活の課題と実践」で取り上げられています。いきなり課題の解決を行うのではなく、課題の解決に向かうためのステップが示されています。

5年生でも6年生でも取り組める3例が掲載されており、長期休暇にも取り組める内容や、習得した技能を生かして低学年のためになるような課題、地域の方々に感謝の気持ちを伝えるような、学びを総合的に生かす課題などが例として示されています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、家庭についての審議を終了いたします。

それでは、吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（家庭）の採択について委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「東京書籍」が良いと思いました。

なんと言っても、本当に写真が大きくて見やすいというのが、それに尽きるかと思うんですが、実習の手順などもとても分かりやすかったですし、先ほど御説明いただいた中にもあったように、切った後の実寸大の写真があるとかいうのは、児童にとっては、すごく分かりやすいだろうと思いました。それから、最初に御紹介いただいた130ページ以降、最後のところにまとめられた、包丁の使い方とかも学校でもきっと使いやすいだろうなというふうに思ったので、こちらが良いと思います。

福田知弘委員

私も「東京書籍」が良いと思いました。

図や写真が大きくて実物大であったりとかして使いやすいということと、それから家庭に持って帰る、実践するという意味で、いろいろなマークとかですね、表示が、かなり最近食品とかで増えていると思うんですけども、それも非常に詳しく解説されているのが「東京書籍」のほうだということ、判断いたしました。

大谷佐知子委員

私も「東京書籍」が良いと思いました。

まったく安達委員と同じ意見なんですけれども、今スポーツでも非常に左利きの方が多いので、左利きの場合の包丁の使い方など配慮が特にされているところが、良いと思いました。

和泉慎次委員

「東京書籍」を推薦させていただきたいと思います。

紙面が大きく、そしてまた写真・図がより分かりやすく、理解しやすいような工夫がなされている点。それから生活の中から課題を見つけて、表現力、あるいは言語活動というものが高められるような工夫がなされている、そんな点で「東京書籍」を推薦したいと思います。

谷口学教育長職務代理者

私も「東京書籍」を推していきたいと思います。

A4で大きいという、もうこれで写真が見やすい、内容が分かりやすい。例えば「いつも確かめよう」のところを見ても、これなら分かるなという感じがひしひしと伝わってくる。そういう感じであり、「東京書籍」が良いんじゃないかと思います。

原田勝教育長

私も「東京書籍」を推薦いたします。

同じ意見になるのですが、写真が非常にたくさんあって分かりやすい。また、情報量が多い。「いつも確かめよう」が非常に良い。

そしてまた、先ほども話されましたように、左利きの写真が載っているのがすごく良いなど、最近左利きの児童も増えていますので、そういった意味で「東京書籍」が良いと思いました。

原田勝教育長

それでは、議案第26号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（家庭）の採択について」につきましては、「東京書籍」を採択することといたします。

原田勝教育長

ここで、教育委員会会議を3時45分まで休憩します。

— 休憩 —

原田勝教育長  
原田勝教育長

教育委員会会議を再開します。

次に、日程第7 議案第27号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（保健）の採択について」の審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第7 議案第27号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（保健）の採択について」の御説明を申し上げます。

保健については5つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

田淵真司指導室主幹・指導主事

それでは、令和2年度使用教科書（保健）の選定具申の発行者順に御説明いたします。

はじめに、「東京書籍」についてです。

3・4年生の教科書15ページを御覧ください。

「ステップ1・2・3・4」と細かく学習の進め方を明示して、学習の見通しがつきやすい構成となっています。書き込みをする上で書きやすい紙質になっております。

同じく22ページを御覧ください。

「資料 室内の空気のごれ」では吹き出しの言葉が簡潔で、分かりやすくなっています。

5・6年生の教科書48ページを御覧ください。

「つなげよう」のコーナーでは、他教科との関連が見られます。

同じく24ページを御覧ください。

字数が精査されて、情報が入りやすい構成となっています。デジタル教材がついておりまして、資料を活用することが可能となっています。

次に、「大日本図書」です。

他者と異なり、ひとまわり小さい教科書のサイズになっています。

3・4年生の教科書の36ページと37ページの間を御覧ください。

シールを活用しての学習が可能になっています。

同じく、18ページを御覧ください。

こちらのページではデジタル教材を活用した学習ができるようになっています。

5・6年生の教科書、10ページを御覧ください。

情報量を最小限に抑え、見やすく、情報が入ってきやすい紙面構成となっています。

同じく、54ページを御覧ください。

「もっと知りたい」と題したページが最後にまとめて掲載され、現代の課題について考えられるようになっています。

次に、「文教社」です。

思春期の体の変化について、女子のことだけでなく、男子のことも掲載されています。

5・6年生の27ページを御覧ください。

こちらは熱中症についてフローチャートで説明されていて、分かりやすいものになっています。

同じく、22ページでは、安全についても詳しく取り扱っています。人災、災害が起こりそうな場所ということで、細かく記載があります。

40ページを御覧ください。

「調べてみよう」や、41ページの自分の生活を項目ごとに確認する活動が取り入れられ、42ページのように、「話し合ってみよう」の項目が毎時間設定されており、問題解決的な学習が促されています。

次に、「光文書院」です。

3・4年生、33ページを御覧ください。

思春期の体の変化の単元において、性的マイノリティについて表記があります。

また、15ページを御覧ください。

スマホの利用についても掲載され、最先端の題材が扱われています。

7ページを御覧ください。

こちらでは学習の見通しを立てやすくするため、6コマ漫画・4コマ漫画で解説し、興味・関心を高める工夫もされています。

16ページを御覧ください。

16ページの下に知っておくためになる「豆知識」のコーナーを設け、情報としても、見やすいものになっています。

最後に、「学研教育みらい」です。

5・6年生の教科書の21ページを御覧ください。

書き込み欄が小さく、情報量が多くなり、説明のバランスがよく、情報が入りやすい構成となっています。

27ページを御覧ください。

学習して分かったことや、大切だと思ったことをまとめ、友達と教えあったり、クラスで発表したり、実生活に繋がるようになっています。

20ページを御覧ください。

事故等について、子供が被害にあった状況が円グラフで詳しく掲載されています。

3・4年生の教科書の15ページを御覧ください。

科学的な内容が「かがくの目」として写真や図で提示されています。

説明は以上でございます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

知識や理解を身に付け、これを活用させるための工夫というのがどのようになされているか、説明してください。

各発行者とも、自分の心身への気付きや身近な事柄から学習課題を見つけ、基礎的基本的な知識を習得し、習得した知識を活用しながら、実践的に理解させるための工夫がされています。

「東京書籍」では、1時間の学習課題が初めに記載されており、何を学ぶか明確に提示されています。また、「深める・伝える」の項目など、全

原田勝教育長  
安達友基子委員

田淵真司指導室主幹・指導主事



体を通して自分の考えを書き込み、伝え合う活動ができるように構成されています。

「大日本図書」では、「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」と段階を追って構成され、意見を書き込む欄も設定されており、主体的に、問題解決的な学習を行える内容となっています。

「文教社」では、「新しい自分にレベルアップ」のコーナーを設け、「あなたなら、どうする？」という問いかけをして、自分自身の考えを深める工夫があります。

「光文書院」では、学習の見通しを立てやすくさせるために、6コマ・4コマ漫画で解説し、学習意欲を高める工夫をしています。また、豆知識のコーナーを設けて、興味・関心を高めています。

「学研教育みらい」では、単元の終わりに、学習してきた内容について「振り返る・深める・つなげる」のところで、まとめができるように工夫されています。

大谷佐知子委員

学習を進めるにあたり、児童の発達段階に応じて、どのように工夫がされているか説明してください。

田淵真司指導室主幹・指導主事

どの発行者も、子供たちが課題をつかみやすくするため、大切なところは太字で明記されていたり、挿絵や写真で興味・関心を高める工夫がされています。

「東京書籍」では、児童の気づきを促す項目について、キャラクターの言葉が吹き出しとして表記されており、発達段階に応じた内容、挿絵になっています。また、一つひとつの項目ごとに色分けや、罫線で区切るなど、見やすい工夫がされています。

「大日本図書」では、学ぶ内容に関わる豆知識を資料として豊富に掲載し、児童の興味・関心を引く内容となっています。

「文教社」では、キャラクターのタッチが柔らかく、親しみやすく、図や写真、吹き出しを用いて児童の発達段階に応じた手立てが施されています。

「光文書院」では、学習のまとめが単元の終わりに設定されており、学習してきたことを振り返りやすくなっています。

「学研教育みらい」は、写真や図が多く、吹き出しを用いて発達段階に応じた分かりやすい手立てがあります。

福田知弘委員

人権につきまして、どの発行者も十分配慮がなされていると思いますが、それぞれに特徴的なことがあれば紹介してください。

田淵真司指導室主幹・指導主事

「東京書籍」では、思春期に現れる変化について、男女差や、個人差があることが丁寧に説明されています。

「大日本図書」は、エイズについての項目で、病気を正しく理解することや、共生の大切さを記載するなど、人権に配慮した内容になっています。

「文教社」は、人それぞれに個人差があることを図やグラフにして分かりやすく説明し、一人ひとりの違いを認められるように配慮されています。

「光文書院」は、パラリンピック選手のメッセージを記載するなど、障

がい者理解や共に生きる社会を意識できるよう、人権に配慮されたものとなっています。

「学研教育みらい」では、健康に生きる権利について、挿絵や写真を入れて、みんなが健康に生きていけるためにはどうしたらいいのかを考えられるように配慮されています。

谷口学教育長職務代理者

発展的な学習の取扱いということに関して、各者どのように取り扱っていますか。

田淵真司指導室主幹・指導主事

「東京書籍」は発展的な内容を「資料」として取り上げ、インターネットに関することやインフルエンザ、熱中症など、児童と関わることについて学習を深められるものとなっています。

「大日本図書」は「もっと知りたい」と題したページが最後にまとめて掲載され、現代の課題について考えられるようにされています。

「文教社」は災害や自身の健康に関わることなど、現代社会の課題が「発展」マークをつけて豊富に取り上げられています。

「光文書院」では、大単元の終わりに「学習のまとめ」のコーナーがあり、学習の振り返りができるように工夫されています。

「学研教育みらい」では、単元の終わりに「もっと知りたい・調べたい」の項目が設定され、自然災害や体の抵抗力・がんなどの病気について取り上げられ、発展的な学習ができる内容となっています。

和泉慎次委員

写真や図・挿絵などについての配慮や工夫はどのようになっていますか。

田淵真司指導室主幹・指導主事

どの発行者も、文字やイラストの絵、フォント、レイアウトや図の配色など、ユニバーサルデザインに配慮したページ構成となっています。

「東京書籍」では、特別支援教育の視点を大切に、図や写真、文字の色、大きさなど、ゆったりとしたレイアウトで、見やすく編集されています。

「大日本図書」では、サイズは小さいですが、情報量を抑え、見やすいレイアウトになっています。

「学研教育みらい」では、単元はじめに大きな写真を掲載し、興味・関心に繋げています。

「文教社」では挿絵や、人それぞれに個人差があることを図やグラフにして、分かりやすく説明しています。

「光文書院」では共生社会を実現するための工夫や取組が、写真や挿絵で紹介されています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、保健についての審議を終了いたします。

それでは、吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（保健）の採択についての委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「光文書院」が良いと思いました。

理由としては、こちらは新しい視点というのがたくさん取り入れられているなと思ったことがありまして、例えば、スマホであったりとか、怪我の防止のところでも、自然災害、地震とか津波から身を守るというのがあ

ったり、身長や体重の成長のところでも、痩せすぎに注意という、最近の女の子が痩せすぎだということはちゃんとフォローされていたりとかしたのが良いと思いました。

それと、どの発行者でも思春期に現れる性差について取り扱っていますけれども、それを教える時に、教室の中にどうしても自分がみんなと違うという思いを抱いている子があろうということは、とても大事なことで見過ごせないと思うのですが、こちらの「光文書院」では、性的マイノリティについてもきちんと触れられていましたし、そのページのなかでホットラインまで紹介されていたのは、とても素晴らしいことだと思いました。

福田知弘委員

私は「東京書籍」が良いと思いました。

まず、図とか分量が適当、図が見やすく分量が適当だということ、それから、各単元に学びのめあてというもの、それが分かりやすく書かれている、それから、他の教科との繋がりですね、各単元に書かれているということもありますし、それから英語、外国語の紹介なんかもございましたので、身近なところから外国語を学べるということも推薦したいポイントでございます。

大谷佐知子委員

私は「東京書籍」が良いと思いました。

学習の見通しがつきやすい構成になっている「ステップ1・2・3・4」というような、学習の進め方が明示されているという点が良いなと思ったり、特別支援教育の視点を大切に、図や写真、文字の色・大きさなど、ゆったりしたレイアウトにしている点が良いと思いました。

和泉慎次委員

「東京書籍」を推薦したいと思っています。

発達段階に応じた内容と挿絵で分かりやすく表現されているのと、また、同じように、写真・図、それから文字の大きさ・色などが見やすく編集されています。

それから、学習の進め方が明示される過程で、理解しやすいような工夫がなされているところで、「東京書籍」を推薦したいと思います。

谷口学教育長職務代理者

見ておりまして、「東京書籍」と「光文書院」が同じような感じで、いろんな点で比較して考えてみまして、まず、「光文書院」のほうが僕は結局良いのではないかと思った理由は、やっぱり障がい者に対する対応とか、共生社会の対応に関しまして、きっちり書いてあるという感じと、それとですね、僕は歯医者ですので、グラフとかそういった医療のことに関する書き方に関しても、いじめに関する書き方に関しても、「光文書院」の書き方のほうがより分かりやすく、理解していただけるんじゃないかなというふうに思いました。

それと、「東京書籍」だけが、すべてのなかで、死亡順位の書き方が、間違った書き方はしてないんですけども、違う書き方をしてるんです。見てもらったら分かるんですけども、「東京書籍」の5・6年生の58ページのところに、日本人の死因の内訳って書いてあるんです。で、順番に円グラフが書いてあって、何パーセントかが、がんが29パーセント、その次心臓病で、その次脳卒中で、肺炎でと、肺炎と脳卒中が逆になって

いるのが分かると思うんですけども、要するに生活習慣病を示すために、ここで逆転して書いているんです。分かりますかね。他はみんな、パーセンテージ通り、要するに、がん、心臓病、肺炎、脳卒中って、普通どおりの書き方をしてるんで、他の4冊は。「東京書籍」の書き方のほうがやっぱり、あまり良くないんじゃないかなという気がしますので、「光文書院」を推したいというふうに思います。

原田勝教育長

私は「東京書籍」を推薦いたします。

学習の進め方を明確にして、学習の見通しがつきやすい構成になっておりますし、先ほども話がありましたが、イラストが明確であると。何よりも特別支援教育の視点を非常に大切にしているなということを感じました。

あと、字が見やすいということでございますので、私は「東京書籍」を推薦いたします。

原田勝教育長

以上により、「東京書籍」が過半数に達しましたので、議案第27号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（保健）の採択について」につきましては、「東京書籍」を採択することといたします。

原田勝教育長

次に、日程第8 議案第28号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（特別の教科 道徳）の採択について」の審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第8 議案第28号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（特別の教科 道徳）の採択について」の御説明を申し上げます。

特別の教科 道徳については8つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

西貴美子指導室主幹・指導主事

それでは、令和2年度使用教科用図書（特別の教科 道徳）の選定具申の発行者順に、8者御説明いたします。

はじめに、「東京書籍」です。

5年生の教科書、136ページを御覧ください。

読み物教材とは異なった形式の活用型教材が全学年に収録されており、様々な活動の中でアクティブに議論することを促し、子供たちの多面的・多角的な考えを引き出す工夫がされています。ここでは、自分の生活を見直し、事故をよぶ恐れのあるヒヤリハットを探して、安全に過ごすためには、どのようなことが大切かを考える時間となっています。

次に、いじめ問題についてです。同じく5年生の教科書、目次を御覧ください。

右ページ真ん中、ピンク囲みになっている部分が、いじめをしない、許さない心を育てる教材として、導入の「いじめのない世界へ」というとびらのページ、そしていじめを扱った直接的教材「転校生がやってきた」、いじめを直接的には扱わず、ねらいとする道徳的価値にせまる間接的教材「ノンステップバスでのできごと」がユニットとして、用意されています。複数時間にわたり、いじめのことを深くじっくり考えることができるよう

工夫されています。

次に、「学校図書」です。

1年生の教科書を御覧ください。

児童が、主体的に気付き、学びを深める、「きづき」・「まなび」というタイトルのついた2冊で一つの教科書となっています。

読み物教材が掲載されている太いほうの冊子「きづき」の教科書で、道徳的価値や課題と出会い、そこでの気付きをもとに、薄いほう「まなび」の冊子で、より良いあり方を考え、議論し、深め合う時間ができるよう工夫されています。

いじめ問題については、「きづき」の教科書、目次を御覧ください。

いじめ問題について、目次のページ数の上に随所に出てきます「ともにいきる」マーク、ハート形の手を結んだマークです。一度きりで終わらない学びとなるように、いじめに関連する教材は、この「ともにいきる」マークを付け、年間を通して、計画的に配列されています。

「まなび」の教科書の巻末、48ページを御覧ください。

保護者のページと題し、学年の学習内容が解説されており、家庭教育との連携を図ることが配慮されています。

次に、「教育出版」です。

1年生の教科書、66ページを御覧ください。

低学年では、動物を登場人物とした物語教材が多く、他のページにもたくさん登場します。中学年では、児童の生活場面を題材にして、考えや行動について考えさせる教材、高学年では、人物の生き方から自己の生き方について考え深めさせる教材と、発達段階に合わせて、各学年で取り上げる教材を工夫し、配置されています。

また、6年生の教科書、44ページを御覧ください。

体験を通して、人としての行動について考えを深められるよう、モラルスキルトレーニングが全学年にわたって配置され、多様なスキルの育成が実現できるよう工夫されています。ここでは、地震が起きたときの安全について考え、具体的な行動について考えながら、道徳的な価値を学ぶ教材となっています。

次に、「光村図書出版」です。

5年生の教科書を御覧ください。

B5判という持ちやすいコンパクトなサイズになっています。

93ページを御覧ください。

左側「考えよう・話し合おう」の部分では、全教材において3つの問いがあり、対話を通して深い学びに繋げられるよう、話し合いの土台作りとなる道徳的な問い、そして道徳的な価値について、理解や自覚を深める問い、最後に自分にひきつけ、自分自身に返す、掘り下げの問い、と、道徳の時間に考えることを3つの切り口から提示しています。

いじめ問題については、同じく5年生教科書、37ページを御覧ください。

右端、紫色のよびかけ部分、続いて教材2つ「すれちがい」と43ページの「どうすればいいのだろう」、それから2ページめくっていただき46ページの「コラム」が一つのユニットとして全学年で設定され、いじめをしない、させない、見過ごさせない力が系統的に育成されるよう工夫されています。

また、このユニットは、いずれも学年の前半に担当され、学級づくり、友達との関係づくりに活かせる配置になっています。

次に、「日本文教出版」です。

5年生の教科書を御覧ください。

巻末部分に別冊で道徳ノートが用意されており、自身の考えを書く自由記述欄が設けられています。

また、友達の意見も記入することができ、これらを通して、自身を振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるように配慮されています。

22ページを御覧ください。

教材の冒頭には、主題が示され、一回一回の授業でのねらいが達成されるよう配慮されています。

また、86ページ、87ページを御覧ください。

コラム「心のベンチ」では、教材に関連する素材が提示され、多面的・多角的な思考を促す工夫がされています。

次に、「光文書院」です。

5年生の教科書、40ページを御覧ください。

物語教材では、最初に右下のように、登場人物を紹介し、子供の読みを理解する手助けがされています。

次のページ、41ページから43ページまでの枠外下には、児童に寄り添うキャラクターを設定し、共感や気付き、考えるためのポイントや、考えを広げるための見方など、様々な問いが提示されています。

巻末には、授業の記録を書いてまとめられるよう、「学びの足あと」として、折り込みページが設けられています。自らを振り返って成長を実感したり、道徳的諸価値理解を深めたり、整理したりできるように工夫されています。

次に、「学研教育みらい」です。

1年生の教科書の22ページを御覧ください。

この教材は親切・思いやりをテーマにしたものですが、「学研教育みらい」では、教材の主題を本文と出会う前に記載しないことで、特定の価値を押し付けない、児童の課題意識を大切にしたいづくりとなっています。

また、同じく1年生の教科書の36ページを御覧ください。

教科書のサイズをA4判にすることで、挿絵や資料を大きく豊富に載せる工夫がされ、児童の興味を引くものとなっています。これは、原寸大の赤ちゃんとなっています。

「学研教育みらい」では、いのちの教育を最重要テーマとして、全学年

でのちに関わる教材がユニットで3点用意され、それに加えて、内容項目の異なる複数教材が配列され、例えば、79ページを御覧ください。

いのちの教育に関連した教材には目印として左上に、「いのち」のマークがついています。このマークは他にも、117ページなど随所に出てきます。

また、いじめ防止に繋がる教材も、様々な内容項目で取り上げ、多面的・多角的に考えられるよう配置されています。

最後に、「廣濟堂あかつき」です。

5年生の教科書を御覧ください。

巻末に別冊「道徳ノート」があります。このノートを活用して、児童が自分自身の学習を振りかえって成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるように工夫されております。

85ページを御覧ください。

「考えよう話し合おう」においては、学習の道筋を示し、体験的な学習の視点を踏まえた問いを示すなどして、主題やねらいに応じて、児童がさらに学習を広げることができるよう、「知っておこう」、「本の紹介」、「活動しよう」など、様々な切り口から学習できるよう工夫されています。説明は以上でございます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

8者あったわけですがけれども、付属のノートが付いているものと付いていないものがあったと思うんですがけれども、各者どのような違いがありますか。また、その付属ノートの使い方の違いがあるか、説明していただきたいと思います。

付属ノートがあるのは、「学校図書」、「日本文教出版」、「廣濟堂あかつき」の3者になりまして、ノートがあることで、授業の流れが決まり、児童に考えてほしいことがあらかじめ見えてしまうことも考えられますが、考えを記入することができますので、考えを整理したり、その積み上げを行ったりすることで、成長を振り返ることもできます。

また、付属ノートを用いない場合でも、各発行者、巻末に「学びの記録」や「学びの足あと」などで、学習した日付や、心に残った教材の感想を書く欄を設けていたり、指導用資料からワークシートを作成しての指導も可能となっています。

いじめや生命の大切さなど、人権に関する問題に対して特徴的な発行者はどこですか。

各発行者ともに、重点内容項目として力を入れて取り扱っております。

「東京書籍」、「日本文教出版」、「教育出版」、「光文書院」、「廣濟堂あかつき」の5発行者では、直接的ないじめについて強く触れる表現ではなく、様々な内容項目の学習を通じて、いじめ防止について取り扱っています。

「学校図書」、「光村図書出版」、「学研教育みらい」の3発行者では、下支えとなる道徳的価値など、学習による間接的アプローチと、いじめを

原田勝教育長  
谷口学教育長職務代理者

西貴美子指導室主幹・指導主事

大谷佐知子委員

西貴美子指導室主幹・指導主事

直接的に扱ったアプローチで、年間を通して繰り返し取り扱っております。

「学校図書」では現代のないじめについて考えさせる教材を取り入れています。

「学研教育みらい」では、いのちの教育を全学年通じての最重要テーマとし、「いのち」、「生き方」として2つのユニットが設定され、いじめについて深く考えられるようになっています。

安達友基子委員

物事を多面的や多角的に考えるということに関して、特徴的なところがあれば説明してください。

西貴美子指導室主幹・指導主事

全発行者ともに、物事を多面的・多角的に考え、児童が主体となるしかけがあります。

各発行者、呼び方は異なりますが、「考えよう」や「話し合おう」のページを設け、それぞれの多様な意見を考え、議論し、より良い生き方を模索しながら、見つけていく過程を大切にしています。

なかでも、「東京書籍」は、先ほどの説明でも申しましたが、活動型教材が収録されており、様々な活動の中でアクティブに議論させることを促しており、「光村図書出版」では、3つの切り口からの問いを提示し、対話を通して学びを深められる工夫がされております。

また、「学研教育みらい」は、他者とは異なり、主題名を本文やタイトルの前に表示しないことで、特定の価値観を押し付けることなく、児童の問題意識を大切に授業展開が行えるよう工夫しております。

福田知弘委員

問題解決的な学習や、体験的な学習に創意工夫が見られる発行者はございますか。

西貴美子指導室主幹・指導主事

各発行者ともに、児童の関心を高め、道徳的实践を主体的に行う意欲と他者と共によりよく生きる態度を育むよう配慮されたつくりとなっております。

なかでも、「東京書籍」や「教育出版」は、体験を通して人としての行動について考えを深められるような教材が、全学年に配置されています。

和泉慎次委員

情報モラルについて、特徴的に扱っている発行者はありますか。

西貴美子指導室主幹・指導主事

説明とも重なりますが、情報モラルについて、各学年の発達段階に配慮された教材が取り扱われており、特定の見方や考え方に偏らないよう配慮して教材が選ばれています。

なかでも、「光村図書出版」、「日本文教出版」、「光文書院」、「学研教育みらい」の4発行者は、児童が親しみやすく考えられる読み物教材を通して学ぶ工夫がされ、その中でも、「光村図書出版」と「光文書院」はユニットでじっくり向き合えるよう教材が配列されています。

「学研教育みらい」では、情報モラルに関する教材にマークを付け、分かりやすいものとなっております。

原田勝教育長

家庭との連携を意識した特徴的な発行者はありますか。

西貴美子指導室主幹・指導主事

「学校図書」では、まなびの巻末に「保護者の方へ」と題し、学年の学習内容が解説され、家庭教育との連携に配慮されたつくりとなっております。

他にも、「教育出版」、「日本文教出版」では、「1年間の道徳を振り



返って」を児童が書いた後に、保護者記入欄が設けられています。

「廣濟堂あかつき」では、道徳ノートの最後に、先生や家の人に見てもらった記録として、日付とサインを書き込む欄が設けられています。

福田知弘委員

分かりやすさ、見やすさ、印象に残りやすさといった視点での工夫で、特徴的な発行者はありますか。

西貴美子指導室主幹・指導主事

全発行者ともに、カラーユニバーサルデザインへの配慮、文字の大きさや低学年での分かち書きや文節での改行、全漢字へのルビ打ち、大きな絵や写真など、児童の読みの負担を軽減する手立てがございます。

その中でも、「学校図書」は写真をメインにした教材や一枚絵、グラフ、新聞、漫画が用意されています。

おなじく、「学研教育みらい」は教科書サイズがA4型と大きく、視覚的な工夫がなされ、文章の内容を捉えやすく、教材の配置にもゆとりがみられます。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、特別の教科 道徳についての審議を終了いたします。

それでは、吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（特別の教科 道徳）の採択についての委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「光村図書出版」が良いと思います。

まず、大きさ的などころでいうと、持ちやすくコンパクトなほうが、やっぱり良いなというのを感じます。

それと、説明の中でもあった、3つの切り口の問いというのが、対話を通して深い学びに繋がるので、非常に良いんじゃないかと思っています。

それと、親として道徳の授業に何を期待するかという、やっぱりいじめのことに限らずクラスで考える時間になってくれればと思うんですが、その構成についても、まず最初にいじめ問題のユニットがやってきて、その後も年間を通じて繰り返して題材があるという構成が、とても良いと思いました。

福田知弘委員

私は「学研教育みらい」が良いと思いました。

児童に対して、課題の意識をあらかじめ植え付けないほうが良いのではないかという点と、それから道徳の限られた時間の中で、書く量をできるだけ減らしつつ、話し合う場を設けたほうがより良いのではないかということで、「学研教育みらい」が良いと考えております。

大谷佐知子委員

私は「学研教育みらい」が良いと思いました。

教材の冒頭に主題名を記載しないよう配慮されているので、特定の価値観を押し付けないとか、子供の問題意識の問いを大切にするために配慮されているところが良いなと思いましたし、全体的に、多面的・多角的に考えるよう配慮されていることが、とても良いと思いました。

和泉慎次委員

「学研教育みらい」を推薦したいと思います。

いじめについて様々な項目で取り上げられておりますし、また、より良く生きていくために多方面にわたって多面的に考えられるような問いの工

夫もなされています。

また、特定の価値観を押し付けずに、問題意識を大切にするような配慮がなされています。

それと、働くこと、また、夢を叶えること、日常生活を通して自分の生き方を考えられるような工夫がなされているということで、推薦をしたいと思います。

谷口学教育長職務代理者

「学研教育みらい」を推したいと思います。

教科書サイズがA4で内容が見やすいというのがまず一つと、子供の問題意識を、問いのかたちで、いろいろなかたちで発展させていって、考えさせていくという姿勢が良いと思いますし、特にいじめの問題に関しましても、今まで出てきたようなかたちで、その防止だとか、自と他の問題というものの多角的・多面的に考えているというのが、「学研教育みらい」が良いと思います。

原田勝教育長

私も「学研教育みらい」が良いと思いました。

いのちの教育を最重要テーマとして、全学年で命の尊さの教材が用意されているということと、先程も話がありましたが、特定の価値観を押し付けられないということを考えて配慮されているということを感じました。

また、フォントが大きくて読みやすいということも、推薦理由でございます。

原田勝教育長

それでは、「学研教育みらい」が過半数となりましたので、議案第28号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（特別の教科 道徳）の採択について」につきましては、「学研教育みらい」を採択することといたします。

原田勝教育長

次に日程第9 議案第29号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（外国語（英語））の採択について」の審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第9 議案第29号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（外国語（英語））の採択について」の御説明を申し上げます。

外国語（英語）については7つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

橋本道信指導室主幹・指導主事

それでは、令和2年度使用教科用図書小学校用外国語の選定具申の発行者順に、7者について御説明いたします。

はじめに、「東京書籍」につきまして、御説明申し上げます。

6年生の教科書を御用意ください。22ページを御覧ください。

このページにありますように、ヘッドホンやペン、吹き出しのマーク等で4技能5領域が示されていますが、各単元では、音声から文字への流れを重視し、聞く、話す、読む・書くの流れで構成されております。

また、70ページ、71ページを御覧ください。

このように単元の内容に関連した、異文化理解のためのページが用意されております。また、別冊の Picture Dictionary には、中学校の学習を見

据えた語彙が載っており、単語を調べたり、授業で学んだ単語や表現を復習したいときに活用できるようになっております。

続きまして、「開隆堂」につきまして、御説明申し上げます。

5年生の教科書を御用意ください。18ページから25ページを御覧ください。

このページにありますように、各単元では、単語の習得から始まり、学習を進めていく中で、表現の習得へと、容易な内容から徐々に難しい内容への配列がされております。

また、48ページにありますように、リズムに合わせて英語を発音する「チャンツ」等の言語活動を通して、基礎的な知識を、やり取りを通してコミュニケーション活動で活用できる技能を身に付けられるよう、配列されています。

次に51ページを御覧ください。

「Let's Play 4」、「Let's Play 5」のように、各単元にペアやグループワークが設定されており、言語活動の充実が図れるよう工夫がされております。

続きまして、「学校図書」につきまして御説明申し上げます。

5年生の教科書を御用意ください。26ページ・27ページを御覧ください。

ヘッドホンや発話のマーク等で示されているように、聞く、繰り返し言う、話す、読む・書くの流れになっており、言語習得理論に沿った構成となっております。

また、37ページを御覧ください。

こちらの内容にありますように、自分のことを英語で話すというスタンスで、活動の目的がはっきりとしているため、単なる繰り返しの練習にならず、意欲を引き出す活動が多く取り扱われております。

また、51ページを御覧ください。

インドの小学校の時間割がありますが、各レッスンの中で、日本のことや外国のことについて知るコーナーがあり、視野を広げる工夫がなされています。

続きまして、「三省堂」につきまして御説明申し上げます。

5年生の教科書を御用意ください。22ページ・23ページを御覧ください。

こちらにありますように、「Listen & Talk」、「Enjoy Listening」、「Talk to Friends」の流れで、段階的にターゲット表現を用い、既出表現に何度も触れ、インプット・アウトプットを繰り返し、習熟を図る工夫がされています。

また、4ページ、5ページを御覧ください。

各学年、「Hop」、「Step」、「Jump」で構成された大単元が設定され、2学年を通して6つのプロジェクト型の活動が設定されています。

また、教科書全般を通して、言語活動は、基礎的・基本的な知識及び技

能を習得することを重視したものと、36ページ、37ページにありますように、思考力・判断力・表現力の育成を重視したものが、バランス良く配分されております。

続きまして、「教育出版」について御説明申し上げます。

5年生の教科書を御用意ください。34ページ、35ページを御覧ください。

構成が見やすくまとめられており、導入では、児童が興味・関心を引く動画を用いてのリスニングもあり、ゲームの方法なども分かりやすく示され、どの先生でも授業がしやすいように、まとめられています。

また、61ページから63ページを御覧ください。

まとめのページには、ペアやグループの活動が設けられており、自分が伝えたい内容を伝えられるようになっています。

次に、90ページを御覧ください。

児童がよく知っている日本語の本や、他教科との関連がある内容が取り扱われております。

そして、巻末にある、シールを使ってワークシートの作成など児童が英語に親しめる工夫がされています。

続きまして、「光村図書出版」について御説明申し上げます。

6年生の教科書を御用意ください。38ページから45ページを御覧ください。

こちらの流れのように、各単元が、「Hop!」、「Step」、「Jump!」という段階を踏んだ学習で、基礎的な知識・技能が着実に習得できるように工夫しております。また、各単元、4技能5領域バランス良く配置されております。

また、55ページにあるように、話す活動で、相槌などのレスポンスが必要であることを示唆し、言語活動を工夫しています。

92ページ、93ページを御覧ください。

この教科書の中では、世界12か国の子供たちの生活の様子等を取り上げており、他国への関心を高める工夫がされています。

最後に、「啓林館」について御説明申し上げます。

5年生の教科書を御用意ください。31ページを御覧ください。

各ユニットには、ゴールが明確に設定されております。

また、38ページにあるように、振り返りのページもありますので、自分ができるようになったことを明確にすることができるようになっております。

40ページを御覧ください。

「REVIEW」のページでは、既習表現を、場面や状況を変えて使えるかを問い、思考力・判断力を養う工夫をしています。各単元、短く簡単な表現を聞くことから入り、ゆるやかに話す活動に移行するよう工夫されております。

説明は以上でございます。

原田勝教育長 谷口学教育長職務代理者	<p>それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。</p> <p>5年生・6年生の子供が外国語を初めて学習するという事で、興味・関心を持てるようなかたちでいろいろな工夫がされていると思うんですが、どのように工夫されていますか。</p>
橋本道信指導室主幹・指導主事	<p>「教育出版」や「光村図書出版」では、学習の導入では、動画を用いてのリスニングが用意されており、児童が興味・関心を持てる内容になっています。</p> <p>また、「東京書籍」や「開隆堂」、「啓林館」では、自国の伝統文化や異文化の話題が取り上げられており、児童が視野を広げ、国際理解・異文化理解に興味・関心を持てるよう工夫がされています。</p>
大谷佐知子委員	<p>児童が英語に親しめよう、どのように工夫されているか説明してください。</p>
橋本道信指導室主幹・指導主事	<p>「学校図書」では、自分たちと同じ学年の登場人物が、身近なテーマに沿って英語を使ってやり取りする設定があり、関心を持ちやすいと考えております。</p> <p>また、「三省堂」では、社会科・家庭科・キャリア教育・国語等、他教科と関連された内容を取り扱っております。</p> <p>「教育出版」は、児童がよく知っている日本語の本が取り上げられ、他教科との連携もあり、シールを使ってのワークシートの作成などの工夫があると考えられます。</p>
安達友基子委員	<p>子供たちが主体となって考える工夫がなされているところがあれば、説明してください。</p>
橋本道信指導室主幹・指導主事	<p>「光村図書出版」では、短い時間で活用できる、楽しいコンテンツが用意されています。</p> <p>また、「教育出版」では、辞書の使い方について取り扱っており、自分で知りたいことについて、自発的な学習に取り組めるように構成されています。</p>
福田知弘委員	<p>各者、人権的な配慮がなされていると思うんですけども、その中でも特に特徴的なものがあれば、説明してください。</p>
橋本道信指導室主幹・指導主事	<p>「光村図書出版」では、世界12か国の子供たちの生活の様子や、世界で活躍する日本人を取り上げ、他国への関心を高め、その生活や文化を尊重したものとなっています。</p> <p>「啓林館」では、服や持ち物の色、社会的役割に対して、性別による固定概念を植え付けないよう配慮されています。</p> <p>「東京書籍」では、外国の人に向けた多言語表示の標識、パラリンピック、アジア・アフリカ・南米・オセアニアなどの題材が広く取り扱われています。</p>
和泉慎次委員	<p>思考力・判断力、また、表現力を身に付けられるような工夫は、各者どのようにされていますか。</p>
橋本道信指導室主幹・指導主事	<p>「学校図書」では、各レッスン末や、年2回のプロジェクトタイムで、今までに学んだことを活かした活動を行えるようになっています。</p>

「教育出版」では、各単元の「Final Activity」で、習った表現を使つての自己表現活動が設定されています。例も2種類以上示されており、実態にあったものを伝えられるよう工夫されています。

「開隆堂」でも、身に付けた知識・技能を用いて、自分の考えを友達と共有する、話し合う活動が、多彩に盛り込まれております。

谷口学教育長職務代理者

英語が苦手な先生でもやっぱり指導していかないといけないことになってきますけれども、どのような工夫や手立てがあったり、あるいは、支援がどのようなかたちであるかということの説明してください。

橋本道信指導室主幹・指導主事

各者ともQRコードから、音声や画像を読み取れるようになっており、授業で活用でき、授業づくりの手立てとなるよう工夫されています。また、巻末にあるカードやワークシートを利用して、授業ができるようになっていきます。

「啓林館」では、1ユニットを3パートに区切り、それぞれの活動や演習をほぼ授業の流れに沿って誌面が構成されており、指導しやすい工夫がされています。

また、「三省堂」では、大単元の構成が、学びの見通しを立てる、基礎的・基本的な知識・技能を習得する、実際の場面で活用する、となっており、見通しを立てた指導ができるよう工夫されています。

原田勝教育長

短時間学習にも対応しているかどうかを聞きたいので、お願いします。

橋本道信指導室主幹・指導主事

各者とも、言語活動は10分から15分の短時間学習でそのまま使えるようになっています。

大谷佐知子委員

コミュニケーションの力の育成について、各者どのように、手立てをされているか説明してください。

橋本道信指導室主幹・指導主事

「学校図書」では、十分なインプットからアウトプットを段階的に扱っており、目的や場面、状況に応じた表現をしたり、伝え合ったりできるようになっています。

「三省堂」では、自分の興味を喚起させる場面設定や話題、他者と関わりながら進めていく活動が豊富に配列されています。

「光村図書出版」では、相手意識を持つことの大切さを示し、話す活動で「あいづち」などのレスポンスが大切であることを示唆しております。

「啓林館」は、「Listen and Guess」で簡単な表現の新出単語を推測して聞く力をつけて、児童の身近な題材を扱い、興味・関心を持たせる中で、コミュニケーションを行い、表現力を備えるようにしています。

「教育出版」では、聞くことを通した豊富なインプットから始め、学んだ表現を使って簡単なやり取りをし、伝えたい内容を読むこと・書くことを経て、最終的にはアウトプットに展開するという構成となっています。

「東京書籍」は、会話に必然性を持たせることで、児童が目的意識を持って思考を働かせ、言語を使う場面を繰り返し登場させています。

「開隆堂」は、チャンツ等の言語活動を通して、単語の基礎的な知識を身に付け、児童が友達とやり取りすることを通して、コミュニケーション活動で活用できる技能が身に付けられるよう工夫されています。

和泉慎次委員

橋本道信指導室主幹・指導主事

中学校との連携について、各者、特徴的な点はありますか。

「学校図書」は、歌の中で中学校での学習内容もフレーズで覚えることができ、6年生の最終単元のコラムでは、中学校終了時の姿を示し、学習意欲を高める工夫をしています。

「三省堂」では大単元の構成が、中学校教科書と構造的に同じになっています。

「光村図書出版」は、6年生巻末の「中学校に向けて 英語の学習を続けていこう」や「学びのパスポート」で、自分の成長を振り返り、中学校の学習に活かせるようになっています。

「東京書籍」の別冊の Picture Dictionary には、中学校の学習を見据えた語彙が掲載されています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、外国語（英語）についての審議を終了いたします。

それでは、吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（外国語（英語））の採択についての委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は、「教育出版」が良いと思いました。

理由としては、教科書の構成が、まず児童が興味・関心を持つような内容の動画から始まって、最終的にはペアやグループの活動で伝え合うというところに繋がっているという構成が良いなということと、そういう構成であることがパッと見ても分かりやすいので、どんな先生でもきっと使いやすいんじゃないかと思いましたので、こちらが良いと思いました。

福田知弘委員

私も、「教育出版」が良いと思いました。

安達委員もおっしゃったように、各単元の構成が非常に分かりやすいということ、それから、動画で聞けるということで、先生以外の方の発音を聞きながら、いろいろな発音が外国にはあるということを知ることが大事ですし、また一方で、他教科との繋がりを考えてみると、「名所・名物マップ」というのが用意されていて、社会科とか家庭科とか、そういうところとの繋がりも身近に感じられるということで、良いかなと考えました。

大谷佐知子委員

私は、「教育出版」が良いと思いました。

まず、開いて本当に見やすく、教科書の構成が見やすいというところ、また、導入では児童が興味・関心を引くような動画を用いて、どの先生も担任一人で行えるというところが良いなと思ったのと、英語に親しめるように、児童が良く知っている日本語の本が取り扱われている点や、シールを使ってのワークシートの作成などがとても良いと思いました。

和泉慎次委員

私は、「教育出版」を推薦したいと思います。

どの先生でも、担任の一人でも行えるような工夫がなされていて、また、構成も非常に興味・関心が持てて、分かりやすく表現をされている工夫がなされている、そしてまた、シールとか、あるいはワークシート等を使いながら英語に親しまれるような工夫がなされているというようなところで、推薦をしたいと思います。

谷口学教育長職務代理者	<p>私は、「光村図書出版」を推薦したいと思います。</p> <p>動画を用いてのリスニングということに関しましては、「教育出版」も同じなんですけれども、会話の中で、やはりコミュニケーション、要するに相手を意識して相槌を打つというふうな、そういったレスポンスが大切だということを教えるというのが大事な授業の姿だと思いますので、そういう意味で「光村図書出版」を推薦したいと思います。</p>
原田勝教育長	<p>私は、「教育出版」を推薦いたします。</p> <p>教科書の構成が非常に見やすく、導入でもリスニングがあるということで、これは児童が非常に興味・関心を持ちやすいということと、あとは、シールを貼ってのワークシートの作成など、児童が本当に英語に親しめるような工夫がされている。全体的にイラストも多くて、非常に分かりやすいということで、「教育出版」を推薦したいと思います。</p>
原田勝教育長	<p>それでは、議案第29号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（外国語（英語））の採択について」につきましては、「教育出版」を採択することといたします。</p>
原田勝教育長	<p>次に、日程第10 議案第30号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を議題といたします。</p>
中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>事務局の説明を求めます。</p> <p>日程第10 議案第30号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」の御説明を申し上げます。</p>
原田勝教育長 全委員 原田勝教育長	<p>選定委員会からの本議案にかかる答申についてございますが、別表3にもありますように、吹田市におきましては、従来より、障がいのある児童生徒の社会参加や自立を実現させる観点に立ち、可能な限りすべての児童生徒が、共に学び、共に育つよう配慮しており、支援学級に在籍する児童生徒も、通常学級の児童生徒と同じ教科用図書を採択し、学校教育法附則第9条に規定される教科用図書については、別途採択しておりません。</p> <p>しかしながら、小・中学校に在籍する児童生徒のうち、弱視児童生徒については、学校教育法附則第9条に基づき令和2年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した、拡大教科書を採択することが望ましいため、御承認いただきますようよろしくお願い申し上げます</p>
原田勝教育長 全委員 原田勝教育長	<p>それでは、この件について、何か御意見はございませんか。</p> <p>異議なし。</p>
原田勝教育長	<p>異議なしと認め、議案第30号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を承認いたします。</p>
原田勝教育長	<p>次に、日程第11 議案第31号「吹田市令和2年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳を除く）の採択について」を議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>日程第11 議案第31号「吹田市令和2年度使用教科用図書中学校用</p>



(特別の教科 道徳を除く)の採択について」の御説明をさせていただきます。

今年度は、令和2年度使用教科用図書中学校用(特別の教科 道徳を除く)の採択替え年度にもあたっておりますが、大阪府からの令和2年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の基本事項により、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度の調査研究結果等を活用することができる、を受けまして、今年度の採択は、平成27年度の調査研究結果を活用します。

それを踏まえて、選定委員会に検討の上、意見を答申するよう諮問を行いました。なお、先ほどの大阪府の基本事項により、「特別の教科 道徳」については、令和元年度の使用教科用図書と同一の教科書を使用することとなります。

原田勝教育長

それでは、4年間の使用実績を踏まえ、平成27年度の調査研究結果を活用し、答申、別表2の選定具申に基づき、別表4のとおり教科用図書を採択することに御異議ございますか。

全委員

異議なし。

原田勝教育長

異議なしと認め、議案第31号「吹田市令和2年度使用教科用図書中学校用(特別の教科 道徳を除く)の採択について」につきましては、別表4のとおり教科用図書を採択することといたします。

原田勝教育長

次に、日程第12 議案第32号「吹田市令和2年度使用教科用図書中学校用(特別の教科 道徳を除く)の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第12 議案第32号「吹田市令和2年度使用教科用図書中学校用(特別の教科 道徳を除く)学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」の御説明を申し上げます。

本議案につきましては、先程、日程第10 議案第30号で御説明いたしましたことと、同様の内容でございます。

したがって、学校教育法附則第9条に基づき、令和2年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した、拡大教科書を採択することが望ましいため、御承認いただきますようお願い申し上げます。

原田勝教育長

それでは、この件について、何か御質問はございませんか。

全委員

異議なし。

原田勝教育長

異議なしと認め、議案第32号「吹田市令和2年度使用教科用図書中学校用(特別の教科 道徳を除く)の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を承認いたします。

原田勝教育長

それでは、これをもちまして本日の議事日程を終了いたしましたので、7月定例教育委員会会議を閉会いたします。

午後4時58分